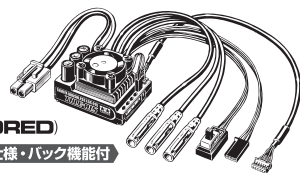


TBLE-01S

TAMIYA BRUSHLESS ELECTRONIC SPEED CONTROLLER 01 (SENSORED)
 タミヤ ブラシレス エレクトロニック スピード コントローラー 01 センサー付



ITEM 45047
TAMIYA
 取扱説明書

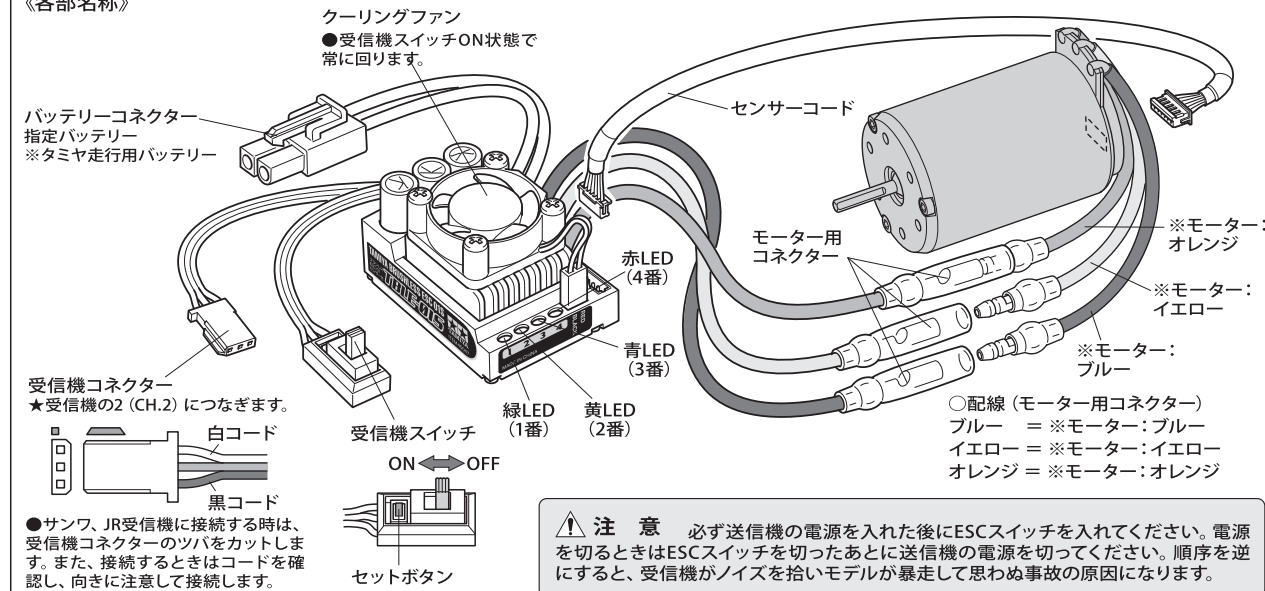
このたびはタミヤブラシレスESC 01センサー付をご購入いただきありがとうございます。このESCはタミヤブラシレスモーター01センサー付シリーズ専用として開発されたバック機能付きのブラシレススピードコントローラーです。ご使用前にこの説明書をよくお読みください。また本製品を安全にご使用いただくために、注意事項等は必ず守ってください。誤った使用での事故や故障は補償の対象外となります。

★使用可能受信機：タミヤ、サンワ、KO、フタバ、JR
 送受信機によっては動作が安定しない場合があります。その際はハイレスポンスモードからノーマルモードにて切り替えてご使用ください。

タミヤブラシレスESC 01 センサー付き (TBLE-01S) スペック

ESCタイプ	前進/バック/ブレーキ
連続最大電流	100A
入力電圧	6.6~7.2V
寸法	35.5×47.0×31mm
重量	90g
BEC	5V/3A
プロテクト	温度保護/過負荷保護/低電圧保護
対応モーター	タミヤブラシレスモーター 01 センサー付シリーズ (TBLM-01Sシリーズ)
ドライブ周波数	16kHz

《各部名称》



注意 必ず送信機の電源を入れた後にESCスイッチを入れてください。電源を切るときはESCスイッチを切ったあとに送信機の電源を切ってください。順序を逆にすると、受信機がノイズを拾いモーターが暴走して思わぬ事故の原因になります。

《搭載方法》

- 両面テープを使用してクラッシュなどの衝撃から守れる場所に搭載してください。受信機スイッチとセットボタンが操作しやすい場所に取り付けてください。
- ESC、モーター、電源用バッテリー、配線コードといった大電流が流れている所はすべてノイズが発生していると考えてください。ノイズの発生源に受信機や受信アンテナ線を近づけることはノコンの原因になります。ESCと受信機、アンテナポストが密着したり、アンテナ線がESCの配線コードに交差しないようにして搭載位置を決めてください。コードが余った場合はなるべくコンパクトにまとめてください。カーボンシャーシや金属シャーシもノイズを拾い伝達します。
- 受信機アンテナはESCから離れた位置にカーボンまたは金属パーツに触れないように立ててください。アンテナ線が余ってしまったもアンテナ棒等に巻きつけないでください。
- できるだけ風通しがよい位置に設置しましょう。パフォーマンスや電子部品の耐久性の向上につながります。

- タミヤブラシレスESC 01 センサー付にはESC保護のために温度保護、過負荷保護、低電圧保護の保護機能が設けられています。過負荷状態になった際には自動的にモーターの出力を停止します。しばらくESCを休ませて温度を下げてください。ESCがたびたびこのような状態になる場合、以下の点をチェックしてみてください。
- ★ギヤ比を適切なものにする。(モーターの説明書を参照してください)
- ★モーター出力が高すぎる、あるいは故障している。

《通常状態のLED表示》
 LEDの表示によってESCの設定と状態が確認できます。

バックモード	：緑LED (1番) が点灯
バックキャンセルモード	：黄LED (2番) が点灯
バッテリーカットオフ動作時	：赤LED (4番) が点滅
ESC温度保護動作	：黄LED (2番) が点滅
センサーコード断線	：全部のLEDが点滅

★ニュートラルポイント、ハイポイントの確認はできません。

保証書

製品名 **タミヤ ブラシレス ESC 01 センサー付 (TBLE-01S)**

お名前 電話番号

ご住所 保証期間はお買い上げ日から90日です。

販売店印 お買上日/平成 年 月 日

※ご販売の際、必ずお買い上げ日を記入し捺印してください。記入が無いものは無効

保証規定 この保証書により、表記の製品を下記の通り保証いたします。なお、この保証書は日本国内でのみ有効です。

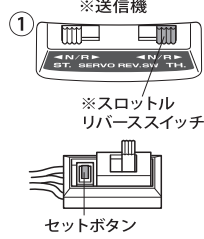
- この保証書はタミヤブラシレスESC 01 センサー付 (TBLE-01S) を保証するものです。
- お買上日から3ヶ月 (90日) 以内に、正しい使用状態で発生した故障は、無料修理いたします。修理を依頼される場合はその故障状況をできるだけ詳しく教えて下さい。修理箇所を早く確認することができるので、修理期間が短くなります。(修理を依頼される場合は、必ずこの保証書を修理品に添えて、お買上店、または株式会社タミヤカスタマーサービスにお送りください。〔静岡市駿河区恩田原3-7〒422-8610 電話番号054-283-0003〕)
- 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。①使用上の誤りや操作の間違ひによると認められる故障 (電源の逆接続、出力コードのショートなどによる故障、水濡れ、衝突などによる故障や損傷)。②電氣的、機械的な変更や改造、分解をした場合 (コードの付け替え、メカの分解等)。③指定以外の電源を使用した場合。④お買上後の輸送や移動、落下などともなう故障や損傷。⑤保管上の不備 (高温、多湿、ナフタリンその他の薬品の製品に損傷を与える場所での保管) や手入れの不備による故障や損傷。⑥火災その他災害による場合。⑦修理依頼の際に保証書が添えられていない場合。⑧保証書にお買上店印、お買上年月日、製品名の記入が無い場合及びそれらの字句を書換えた場合。
- 修理依頼の際の運賃等は、お客様にご負担願います。

●保証書の再発行はいたしません。 ★Effective in Japan only.

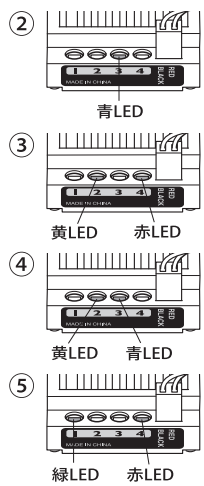
《ニュートラルセットアップ方法》

ESC (スピードコントローラー) にバッテリーを接続せず、受信機スイッチも入っていないことを確認してください。モーターのピニオンギヤを外し、車体に駆動が伝わらない状態であることを確認してください。

- ESCにバッテリーをつなぎ、必ず送信機のスイッチが入っていることを確認してからESCのスイッチを入れてください。
 ★送信機のスロットルトリム (サブトリムも含む) を必ずニュートラルにします。お使いの送信機がサンワ、JRの場合はスロットルリバーススイッチをノーマルに、タミヤ、フタバ、KOの場合はリバースにしてください。
 ★送信機のスロットル舵角の操作量 (ATV) は前進、後進側ともに最大値または出荷時の設定にし、ABS機能やアクセルアシスト機能がある場合は必ずOFFにしてください。
 ★フェールセーフ機能のあるプロボをお使いのときには設定をニュートラルにし、ESCの値と合わせてください。



- ESCスイッチのセットボタンを押したまま、スイッチをONにします。青のLED (3番) が点灯したらボタンをはなします。
 ★LEDが点灯するまでの間は、送信機のスロットル操作を行わないでください。
 ★LEDの点灯や点滅にしばらく時間がありますがそのままお待ちください。
- スロットルを前進最高速位置にすると黄と赤のLED (2番、4番) が点滅します。黄と赤のLED (2番、4番) が点灯したことを確認してブレーキ最大位置にします。
- スロットルを最大ブレーキ位置にすると黄と青のLED (2番、3番) が点滅します。黄と青のLED (2番、3番) が点灯したことを確認してニュートラルに戻します。
- スロットルがニュートラルに戻ると、緑と赤のLED (1番、4番) が点滅します。しばらくして、すべてのLEDが消灯したら設定は終了です。一度ESCスイッチをOFFし、再びONにしたときから、設定した内容は有効になります。



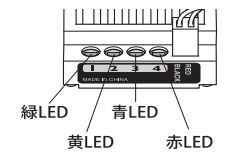
- ★どうしても上手にセットアップ出来ない場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ★すべてのポイントの設定が完了した時点でデータを読み込むため、個々のポイントを単独で設定することはできません。
- ★設定途中で電源OFFにした場合、設定ポイントは記憶されません。前回のデータのままとになります。
- ★ご使用の送信機を変更した場合は再度セットアップを行ってください。
- ★電源をONにしてもESCが動作しない場合は、ニュートラルのスレが考えられます。再度セットアップを行ってください。
- ★セットアップ設定を行った後は、スロットルトリム (サブトリムを含む) の微調整は、絶対に行わないでください。走行中に少しでも誤動作を感じたらスロットルトリム (サブトリムも含む) が動いていないかすぐ確認してください。

《出荷時の設定》

工場出荷時はプリセットプロフィール5にセットされています。工場出荷時の設定に戻したい場合は、この設定で記憶させてください。

《モードプログラムセット方法》

- セットボタンを長押しします。そのまま押しつけていると約2秒ごとにLEDの表示が切り替わり各モード (《a》~《f》) を示します。
 ★最後のモードが終わってもセットボタンを押しつけていた場合、青LEDが点灯した状態で待機し、セットボタンを離れた時点で通常モードへ戻ります。※バックキャンセル設定時は黄色LEDが点灯します。
- 設定したいモードまできたらスイッチを離します。LEDが点灯から点滅に変わりプログラミング可能状態に入ります。プログラミングはセットボタンを1回押すごとに設定数値が上がっていき最大値まで来ると最小値に戻ります。
 ★LEDの点滅回数で設定したい番号がわかります。例) 《a》バッテリーカットオフ 赤点滅1回は設定ON、3回は設定OFF
- 設定数値が確定したら、セットボタンを約2秒間長押しします。設定を有効にするため、必ずESCの電源を入れなおしてください。
 ★プログラミング可能状態で10秒以上セットボタンを押さなかった場合、設定内容を記憶しないで通常モードへ戻ります。



《a》バッテリーカットオフ設定モード (赤LED点灯)

設定 a	1	2	3
ON/OFF	設定ON	設定禁止	設定OFF

★バッテリー保護のため電源電圧が設定値より下回るとモーター出力を停止する設定通常は設定ONにしてください。(Ni-Cd / Ni-MH / LF)

《b》バック設定モード (青LED点灯)

設定 b	1	2
バック状況	バックキャンセル	バック可能

★バックキャンセルは送信機のスロットルトリガー前進から後進に切り替えたときブレーキが掛かります。
 ★バック可能は送信機のスロットルトリガー前進から後進に切り替えたときブレーキが掛かります。一度ニュートラルに戻したあとに後進操作を行うとバック走行します。

《c》ブレーキ出力設定モード (緑、青LED点灯)

設定 c	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
出力%	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

《d》ニュートラルブレーキ出力設定モード (黄、青LED点灯)

設定 d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
出力%	OFF	5	10	15	20	25	30	35	40	45

《e》デッドバンド設定モード (青、赤LED点灯)

設定 e	1	2	3	4	5
%	2	4	6	8	10

★ニュートラルポイント幅 (遊び) の設定

《f》プリセットプロフィール設定モード (緑、黄、青、赤LED点灯)

設定 f	1	2	3	4	5
バッテリーカットオフ a	設定選択	設定選択	設定選択	設定選択	設定ON
バック b	OFF	ON	ON	OFF	ON
※バック出力 (%)	0	50	50	0	25
ブレーキ出力 c	15	15	20	40	40
ニュートラルブレーキ d	15	10	15	OFF	10
デッドバンド e	4	4	6	6	4

※バック出力の変更は上記表の設定に順じます。
 ★設定1~4にした場合は必ず、《a》バッテリーカットオフ設定を適切なもの (設定1 ON又は、設定3 OFF) に設定してください。

危険・警告

- 以下の点に十分注意してください。故障の原因や保証の対象外となる恐れがあります。これらを守らないと、身の回り品の破損や、他人を傷つけたり、大怪我をおこすことがあります。
- タミヤブラシレスモーター01センサー付をあわせてご利用ください。
- 本製品は地上用RC専用で開発されています。他へ転用しないでください。
- 車を走らせないときは必ずスイッチを切り、バッテリーを車体からはずしてください。何らかの事故、問題があった場合に発火及び火災の原因となる恐れがあります。
- コードの誤配線に注意してください。
- 走行中の振動などでコードの接続が緩むことがあります。コントロールを失う

- 原因となるので配線の接続は確実に行ってください。
- 分解や改造はしないでください。またコードの付け替えは、ショートや基板損傷の原因となりますので絶対に行わないでください。
- 必ず送信機のスイッチを入れてからESCのスイッチを入れてください。順序を守らないと車が急に動き出して危険です。使用を終えるときは逆の手順でESCからスイッチを切ります。
- 電子回路の故障につながるため、水分、油、燃料や伝導性の液体がスピードコントローラーやその他電子機器の内部に触れないようにしてください。もし入ってしまった場合、直ちに使用を止め乾かしてください。暴走する危険があります。
- モーターがしっかりと車体に搭載されていない状態でフルスロットルにしないでください。モーターが故障する恐れがあります。
- ESCやモーターが熱い時は連続走行せずに冷めるまで休ませてください。

《トラブルチェック》 ★おかしな?と思ったら修理に出すまえに、下の表を参考にトラブルチェックを行ってください。

症状	原因	対策
モーターが回らない	★セットアップのミス ★配線ミス	●セットアップをやり直してください。またプロボの機能も確認してください。
ブレーキが効かない	★ESCの不良 ★温度保護機能作動	●配線とコネクターを点検確認してください。 ●カスタマーサービスまでお問い合わせください ●ESCが冷めるまで使用しないでください。
オーバーヒート (温度保護機能が働いている)	★クーリング不足 ★車体駆動系の問題 ★モーターのギヤ比があっていない	●ボディに穴をあけるなどしてESCの通気をしてください。 ●車体の回転部分を確認して組みなおしてください。 ●モーターの適正ギヤ比にしてください。

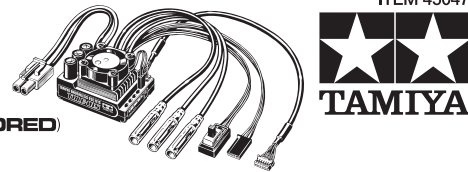
万一不良部品、不足部品などありました場合には、当社カスタマーサービスまでご連絡ください。

〒422-8610 静岡市駿河区恩田原3-7
株式会社タミヤ カスタマーサービス係
 《お問い合わせ電話番号》 静岡 **054-283-0003**
 東京 **03-3899-3765** (静岡へ自動転送)
 営業時間/平日▶8:00~20:00 土、日、祝日▶8:00~17:00



TBLM-01S

TAMIYA BRUSHLESS ELECTRONIC SPEED CONTROLLER 01 (SENSORED)



ITEM 45047



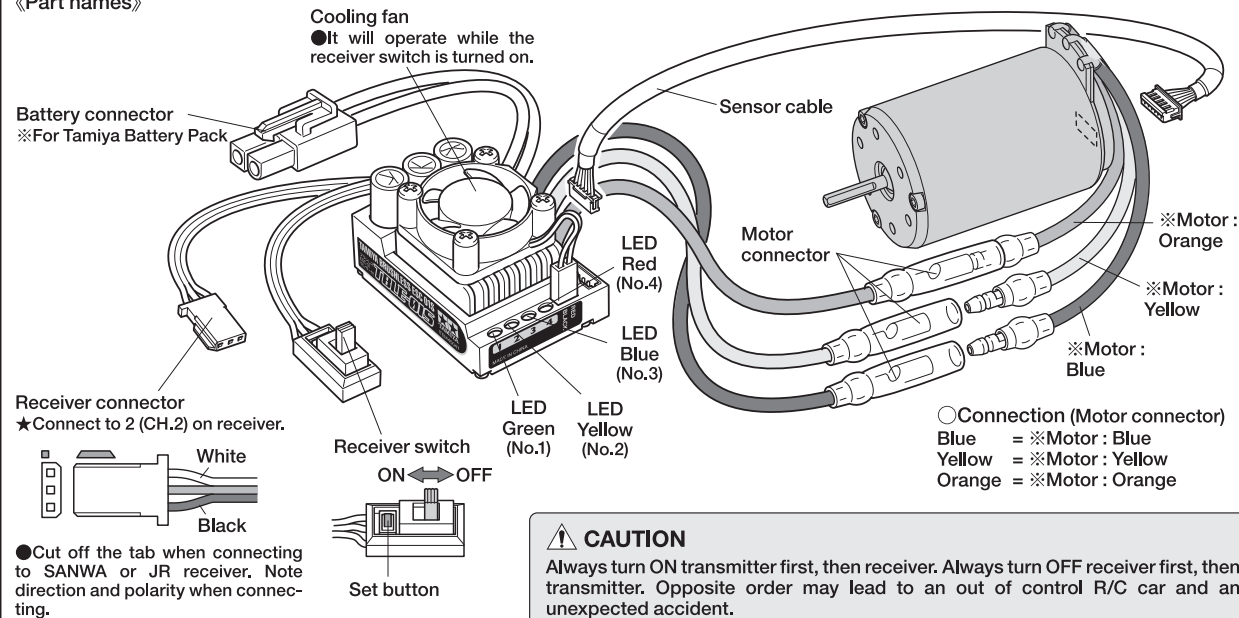
Thank you for purchasing the Tamiya Brushless ESC 01 (Sensored). This forward/reverse electronic speed controller (ESC) is designated exclusively for use with Tamiya Brushless Motors (Sensored). Read carefully and fully understand instructions prior to use. Make sure to read the following safety precautions as breakage and accidents due to improper use will void your warranty.

★Compatible receiver: TAMIYA, SANWA, KO, FUTABA, JR
ESC performance may be unstable depending on the transmitter and receiver. In this case, switch the transmitter from high-response mode to normal mode.

Specifications

ESC : Forward / Brake / Reverse
Max. continuous current : 100A
Input Voltage : 6.6 - 7.2V
Dimensions : 35.5 x 47.0 x 31.0mm
Weight : 90g
BEC : 5.0V / 3.0A
Protection System : Overheat / Overload / Low voltage
Compatible Motor : TBLM-01S series of Tamiya Brushless Motors (Sensored)
Drive Frequency : 16kHz

«Part names»



⚠ CAUTION

Always turn ON transmitter first, then receiver. Always turn OFF receiver first, then transmitter. Opposite order may lead to an out of control R/C car and an unexpected accident.

«Installation»

- Attach the speed controller with double-sided tape to a protected area in the event of a crash. Attach the speed controller so that you have easy access to the switch and buttons.
- Please note that parts such as ESC, motor, battery, and wires emit noise due to large amounts of electric current. Putting the receiver and antenna near such devices may lead to interference causing loss of control. The receiver and antenna must not touch the ESC. The antenna must not cross over with cables from the ESC. Cables should be tied up. Carbon or metal chassis may also transfer interference.
- Set the antenna cable to run vertically up and away from the ESC. Avoid contact with parts made of carbon fiber or metal. Even if the antenna cable is too long, do not wrap it around the antenna. Refer to the instructions included with the R/C unit.
- Attach the speed controller where it can get enough ventilation. This will increase the performance and the life of all the electronic components.

○Tamiya Brushless ESC has protection against overheating, overloading and low voltage. If the speed controller faces overload, the motor will shut off for protection. Allow the speed controller to cool down in that case. If you experience frequent shutdowns, check the following.
★Correct gear ratio (refer to motor manual for gearing recommendations)
★Motor output is too high or motor is damaged.

«LED Indicator»

LED shows the settings and state of the speed controller.
Reverse function on : LED/Green (No.1) turns on
Reverse function off : LED/Yellow (No.2) turns on
Battery cutoff activated : LED/Red (No.4) flashes
Overheat protection activated : LED/Yellow (No.2) flashes
Sensor cable disconnection : All LEDs flash
★LED will not show neutral and highest point settings.

⚠ DANGER • WARNING

- Pay close attention to the following safety precautions as improper use can destroy the product and void your warranty or lead to property damage and personal injuries.
- Use exclusively with TBLM-01S series of Tamiya Brushless Motors (Sensored).
 - This speed controller is intended for use with R/C models that operate on the ground. Do not use with other models.
 - Do not leave the speed controller while it is switched on or connected to the battery. If a defect occurs, it could start a fire.
 - Avoid incorrect connections or connections with reversed polarity.
 - Always wire up all the parts of the equipment carefully. If any of the connections come loose due to vibration, you could lose control of your model.

- Do not disassemble or modify the ESC. Do not replace cables as it can cause a short circuit and damage the circuit board.
- Always turn on transmitter first, then turn on the speed controller. If not, the receiver could receive interference signals, start full acceleration and damage your model. Make sure to turn off in reversed sequence.
- Do not allow the speed controller and other electronic components to come in contact with water, oil, fuels or other electro-conductive liquids. If this happens, stop using the speed controller immediately and allow to dry.
- Do not apply full throttle if the motor is not securely installed as it may damage the motor.
- Continuous running will damage the ESC. Give the ESC time to cool down when you change battery packs.

«Neutral Setup»

Ensure that the speed controller is not connected to the battery and is turned off. Remove motor pinion and ensure that the wheels of the model are free to rotate.

①Connect battery to the ESC. Always turn on the transmitter first, then turn on the receiver.

★Position throttle trim (including sub trim) to neutral.

For SANWA and JR transmitters, position throttle reverse switch to normal. For TAMIYA, FUTABA, and KO transmitters, position throttle reverse switch to reverse.
★Adjust Throttle ATV (forward/reverse) to maximum or reset to factory setting. If your transmitter is capable of programmed settings such as ABS or acceleration function, turn off all settings.
★If your transmitter is equipped with Fail Safe function, set it to the ESC's neutral position.

②Turn the receiver switch on while pressing the set button on the receiver switch. LED/Blue (No.3) will turn on.

★Do not move throttle trigger until LED turns on.

★Some time may be needed before the LED turns on, so please wait patiently.

③Apply full throttle and LED/Yellow (No.2) and LED/Red (No.4) will flash. Hold full throttle until LED/Yellow (No.2) and LED/Red (No.4) turn on, and then apply full brake.

④Apply full brake and LED/Yellow (No.2) and LED/Blue (No.3) will flash. Hold full brake until LED/Yellow (No.2) and LED/Blue (No.3) turn on, and then return to neutral.

⑤Return throttle to neutral position. LED/Green (No.1) and LED/Red (No.4) will flash. This may take time. Setup will complete when LED lights turn off. Turn off the speed controller. The setting will be activated when it is turned on again.

★If the setup has failed, start setup procedures again from the first step.

★The settings will be stored after the completion of all the setups, therefore each setting cannot be stored separately.

★The settings will not be stored if the speed controller is turned off during setup. The previous settings will remain.

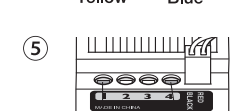
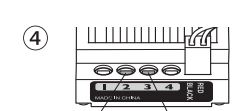
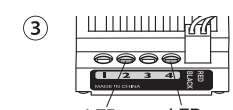
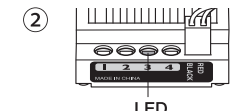
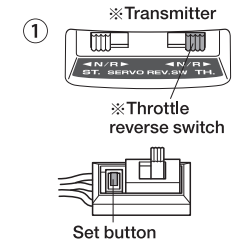
★Setup has to be done again if you change the transmitter.

★If the speed controller does not operate after being turned on again, the neutral setup may have failed. Adjust throttle trim on transmitter or start setup procedures again from the first step.

★Do not adjust throttle trim (including sub trim) after setup is completed. If abnormal throttle response occurs, check the positions of these trims.

«Factory Settings»

Factory setting is pre-set profile 5.



«Mode Programming»

This speed controller has pre-set mode programs which enable you to adjust the settings to your requirements.

①Press and hold the set button. LED will turn on and show the modes to be set up. The mode will change every 2 seconds («a» to «f»). Release the set button at your desired setting mode to enter setup. If the set button is pressed and held until it passes the last mode, the blue (yellow, if the reverse function is off) LED will turn on, and it will go back to normal mode if you release the set button.

②When in setup mode, LED will flash and be ready for the program setting. Press the set button once to increase the setting value by one, and it returns to number 1 after the highest number.

★Count the number of flashes of the LED to check the value. For example, 1 flash means Set 1 and 3 flashes means Set 3.

③Press and hold the set button for 2 seconds to store the setting. Turn the ESC off/on again to activate the new settings.

★If the set button is not pressed in the setup mode for 10 seconds, the setting is not stored and it will return to normal mode.

«a» Battery Cutoff Setting (LED/Red)

Set a	1	2	3
	On	Unavailable	Off

★If the battery voltage drops under the setting value, the motor will shut off to protect the battery.
We recommend to use Set 1 (for Ni-Cd/Ni-NH/LF batteries).

«b» Reverse Function (LED/Blue)

Set b	1	2
Reverse	Off	On

★If the reverse function is off, brake will be applied when you push the trigger to reverse position.

★If the reverse function is activated, brake will be applied when you push the trigger from forward to reverse position. Return trigger from brake to neutral position, then push again to reverse position to move backward.

«c» Brake Setting (LED/Blue, Green)

Set c	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Output(%)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

«d» Neutral Brake Setting (LED/Blue, Yellow)

Set d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Output(%)	Off	5	10	15	20	25	30	35	40	45

«e» Deadband Setting (LED/Blue, Red)

Set e	1	2	3	4	5
%	2	4	6	8	10

★Neutral zone setting

«f» Pre-set Profiles (LED/Green, Yellow, Blue, Red)

Set f	1	2	3	4	5
Battery Cutoff a	Select	Select	Select	Select	Ni-Cd/Ni-MH
Reverse Function b	Off	On	On	Off	On
※Reverse Setting(%)	0	50	50	0	25
Brake Setting c	15	15	20	40	40
Neutral Brake d	15	10	15	Off	10
Deadband e	4	4	6	6	4

※Use different pre-set profiles to change reverse setting value.

★If you choose pre-set profile 1,2,3 or 4, select either On or Off in Battery Cutoff Setting.

«Troubleshooting» ★Before sending your speed controller in for repair, check it again using the diagram below.

Symptom	Cause	Remedy
Motor does not work. No brake control.	★Set-up error. ★Motor defective. ★Wiring problem. ★Speed controller defective. ★Heat protection activated.	●Perform set-up procedure again. ●Replace motor. ●Check wire and plugs. ●Contact your local Tamiya dealer. ●Allow the speed controller to cool down.
Disturbed control. No control.	★Improper position of speed controller and/or receiver. ★Improper receiver antenna position.	●Try different installation positions. ●Try different antenna positions.
Speed controller overheats or switches off frequently.	★Insufficient cooling. ★Drive train problems. ★Incorrect gear ratio.	●Create better ventilation by making cooling slits in the body. ●Check rotating area of chassis. Reassemble if required. ●Use correct gear ratio.

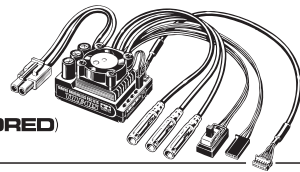
Contact your local Tamiya dealer for any questions regarding this speed controller including parts, defects and repairs.
★Send the product with detailed description of the malfunction to Tamiya Customer Service for repair request (Effective in Japan only).



45047 TBLM-01S

TBLM-01S

TAMIYA BRUSHLESS ELECTRONIC SPEED CONTROLLER 01 (SENSORED)

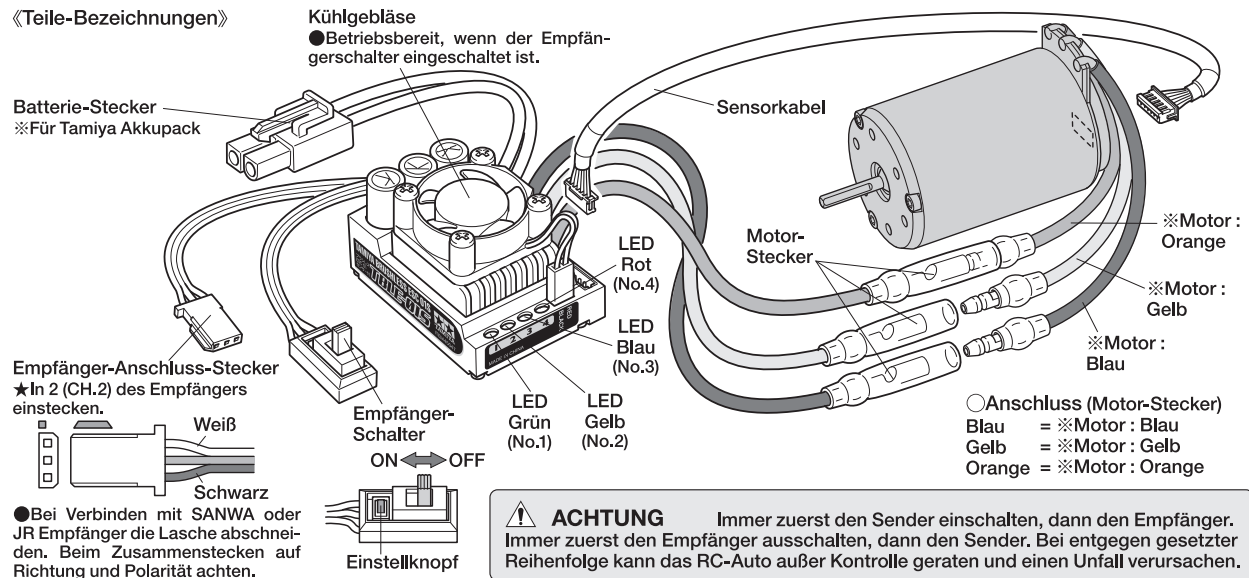


Wird danken Ihnen, dass sie sich für den Tamiya Brushless EFR 01 (mit Sensor) entschieden haben. Dieser vorwärts/rückwärts Elektronische Fahrregler (EFR) wurde eigens zum Einsatz bei Tamiya Brushless Motoren (mit Sensor) entwickelt. Vor dem Einsatz sollten Sie diese Anleitung gelesen und verstanden haben. In jedem Falle sollten Sie nachfolgende Sicherheits- und Vorsichtsmaßnahmen gelesen haben, da Defekte und Unfälle bei fehlerhaften Anwendungen Ihre Garantie hinfällig werden lassen.

★Verwendbare Empfänger: TAMIYA, SANWA, KO, FUTABA, JR
Abhängig von Sender und Empfänger kann die Leistung des EFR schwankend sein. In diesem Fall den Sender vom hochempfindlichen Modus auf Normalmodus umschalten.

Technische Daten
EFR: Vorwärts / Bremse / Rückwärts
Max. Dauerstrom: 100A
Eingangsspannung: 6.6 - 7.2V
Abmessungen: 35,5 x 47,0 x 31,0mm
Gewicht: 90g
BEC: 5.0V / 3.0A
Schutzsysteme: Überhitzung / Überlastung / Niedere Spannung
Verwendbarer Motor: Tamiya Brushless Motore (mit Sensor) TBLM-01S Serie.
Antriebsfrequenz: 16kHz

«Teile-Bezeichnungen»



«Einbau»

- Den Fahrregler mit doppelseitigem Klebeband an einer für den Fall eines Zusammenstoßes geschützten Stelle anbringen. Den Fahrregler so anbringen, dass Schalter und Knöpfe gut zugänglich sind.
- Beachten Sie bitte, dass Teile wie der EFR, Motor, Akku und Drähte durch die sehr hohe Stromstärke Störstrahlung erzeugen. Das Anordnen von Empfängern und Antenne in der Nähe solcher Bauteile kann zu Interferenz mit dem Verlust der Steuerbarkeit führen. Empfänger und Antenne dürfen den EFR nicht berühren. Die Antenne darf nicht quer über Kabel des EFR verlaufen. Die Kabel sollten gebündelt werden. Ein Karbon- oder Metallchassis kann ebenfalls Interferenzen übertragen.
- Richten Sie das Antennenkabel so aus, dass es vertikal und möglichst weit weg vom EFR verläuft. Vermeiden Sie den Kontakt mit Teilen aus Karbonfaser oder Metall. Selbst wenn das Antennenkabel zu lang ist, wickeln Sie es nicht spiralförmig auf. Beachten Sie die bei der RC-Einheit beiliegende Anleitung.
- Befestigen Sie den Regler an einer Stelle wo er gut belüftet wird. Dies erhöht die Leistung und die Lebensdauer aller elektronischen Komponenten.

- Tamiya Brushless EFR hat Schutzvorrichtungen gegen Überhitzung, Überbelastung und zu niedere Spannung. Stellt der Fahrregler Überlastung fest, wird zum Schutz der Motor abgeschaltet. Lassen Sie in diesem Falle den Fahrregler abkühlen. Falls Sie häufige Abschaltungen feststellen, prüfen Sie Nachfolgendes.
- ★Richtige Getriebeübersetzung (beachten Sie die Getriebe-Empfehlungen im Motor-Handbuch)
- ★Die Motorleistung ist zu hoch oder der Motor ist beschädigt.

«LED Anzeige»

Die LED zeigt die Einstellungen und den Betriebszustand des Fahrreglers.

Rückfahr-Funktion an : LED/Grün (No.1) leuchtet
Rückfahr-Funktion aus : LED/Gelb (No.2) leuchtet
Batterieabschaltung aktiviert : LED/Rot (No.4) blinkt
Überhitzungsschutz aktiviert : LED/Gelb (No.2) blinkt
Sensor kabel nicht angeschlossen : Alle LEDs blinken
★Die LED zeigt die Neutral- und Maximalpunkt-Einstellungen nicht an.

⚠ GEFAHRENWARNUNG

- Beachten Sie nachfolgende Sicherheitshinweise peinlich genau, da fehlerhafte Verwendung das Produkt zerstören und Ihre Garantie hinfällig werden kann oder zu Sach- oder/und Personenschaden führen kann.
- Ausschließlich bei der TBLM-01S Serie von Tamiya Brushless Motoren (mit Sensor) verwenden.
 - Dieser Fahrregler ist für den Einsatz in RC-Modellen, die auf dem Boden fahren. Verwenden Sie ihn nicht in anderen Modellen.
 - Lassen Sie den Fahrregler nie unbeaufsichtigt, wenn er eingeschaltet oder mit der Batterie verbunden ist. Falls ein Defekt auftritt, könnte ein Brand entstehen.
 - Vermeiden Sie fehlerhaften Anschluss oder Anschluss mit vertauschter Polarität.
 - Verkabeln Sie stets alle Ausrüstungsteile sorgfältig. Falls sich irgendeine Steckverbindung durch Vibrationen löst, könnten Sie die

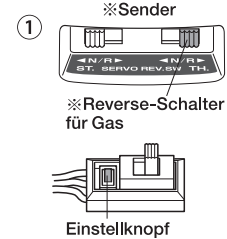
Kontrolle über Ihr Modell verlieren.

- Den EFR nicht zerlegen oder verändern. Ändern Sie nichts an den Kabeln, es könnte Kurzschluss verursachen oder die Schaltkreislamine beschädigen.
- Schalten Sie immer den Sender zuerst ein und dann den Fahrregler. Falls Sie dies nicht tun, könnte der Empfänger irgendwelche Fremdsignale auffangen, auf volle Beschleunigung schalten und ihr Modell könnte beschädigt werden.
- Der Fahrregler und andere Elektronik-Bauteile dürfen nicht mit Wasser, Öl, Kraftstoffen oder anderen elektrisch leitenden Flüssigkeiten in Kontakt kommen. Ist dies versehentlich geschehen, beenden Sie den Einsatz des Fahrreglers sofort und lassen sie ihn trocknen.
- Geben Sie kein Vollgas, wenn der Motor nicht absolut sicher verankert ist, da dieser beschädigt werden könnte.
- Fortwährendes Fahren kann den EFR beschädigen. Geben Sie dem EFR bei einem Akkuwechsel Zeit zum Abkühlen.

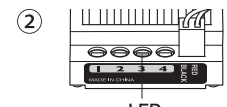
«Einrichten der Neutralstellung»

Vergewissern Sie sich, dass der Fahrregler nicht mit der Batterie verbunden und ausgeschaltet ist. Entfernen Sie das Motorritzel und stellen Sie sicher, dass sich alle Räder des Modells frei drehen können.

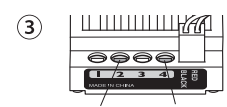
- 1 Akku am EFR anschließen. Schalten Sie immer den Sender zuerst ein und dann den Empfänger.
★Stellen Sie den Gastrimm (einschließlich Hilfstrimm) auf Neutral.
Für SANWA und JR Sender den Reverse-Schalter am Gas auf normal stellen. Für TAMIYA, FUTABA und KO Sender den Reverse-Schalter am Gas auf reverse stellen.
★Die Gasreaktion (vorwärts/rückwärts) auf maximal oder zurück auf die Werkseinstellung stellen. Falls Ihr Sender über programmierbare Einstellungen wie ABS oder eine Beschleunigungsfunktion verfügt, schalten Sie alle diese Einstellungen ab.
★Falls Ihr Sender über eine Fail-Safe-Funktion verfügt, stellen Sie diese auf die Neutralstellung des EFR ein.



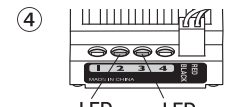
- 2 Halten Sie den Set-Knopf auf dem Empfängerschalter gedrückt und schalten Sie den Empfängerschalter an. Die LED/Blau (Nr.3) leuchtet.
★Den Gaszugriff nicht vor dem Aufleuchten der LED betätigen.
★Es kann eine Zeit dauern, ehe die LED aufleuchtet, daher etwas warten.



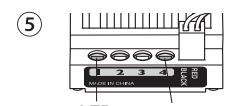
- 3 Geben Sie Vollgas, worauf die LED/Gelb (Nr.2) und die LED/Rot (Nr.4) blinken. Halten Sie Vollgas, bis die LED/Gelb (Nr.2) sowie die LED/Rot (Nr.4) leuchten und führen Sie dann eine Vollbremsung aus.



- 4 Schalten Sie auf Vollbremsung und die LED/Gelb (Nr.2) und die LED/Blau (Nr.3) blinken. Halten Sie die Vollbremsung bis die LED/Gelb (Nr.2) sowie die LED/Blau (Nr.3) leuchtet, kehren Sie dann zu Neutral zurück.



- 5 Kehren Sie mit dem Gas in die Neutralstellung zurück. Die LED/Grün (Nr.1) und die LED/Rot (Nr.4) blinken. Dies kann etwas dauern. Der Einstellvorgang ist komplett, wenn die LED Leuchten ausgehen.
Schalten Sie den Fahrregler aus. Beim Wiedereinschalten wird die vorgenommene Einstellung aktiviert.



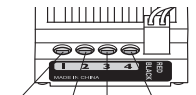
- ★Falls das Setup nicht geklappt hat, starten Sie die Setup-Prozeduren mit dem ersten Schritt neu.
- ★Die Einstellung wird nach Ausführung aller Setups gespeichert, daher kann nicht jeder Einstellvorgang separate gespeichert werden.
- ★Die Einstellung wird nicht gespeichert, wenn der Fahrregler während des Setups ausgeschaltet wird. Es bleibt die vorherige Einstellung.
- ★Das Setup muss erneut vorgenommen werden, wenn Sie den Sender wechseln.
- ★Falls der Fahrregler nach erneutem Einschalten nicht funktioniert, war die Neutral-Einstellung eventuell nicht erfolgreich. Stellen Sie den Gastrimm am Sender nach oder beginnen Sie den Setup-Vorgang von Neuem ab dem ersten Schritt.
- ★Verstellen Sie den Gastrimm (einschließlich Hilfstrimm) nach Abschluss des Setups nicht. Falls die Reaktion auf Gasgeben ungewöhnlich ist, überprüfen Sie die Stellung dieser Trimmis.

«Werkseinstellung»

Ab Werk ist Profil 5 voreingestellt.

«Programmierungs-Modus»

Dieser Fahrregler hat voreingestellte Programm-Modi, die Ihnen erlauben, Einstellungen entsprechend Ihren Anforderungen vorzunehmen.



- 1 Drücken Sie den Set-Knopf und halten ihn gedrückt. Die LEDs beginnen zu leuchten und zeigen die einzustellenden Modi. Der Modus wechselt alle 2 Sekunden («a» bis «f»). Lassen Sie bei dem von Ihnen gewünschten Modus den Set-Knopf los, um in Setup zu gelangen. Wird der Set-Knopf gedrückt gehalten, bis der letzte Modus vorüber ist, leuchtet die blaue LED (die gelbe, wenn die Reverse-Funktion aus ist) und es folgt die Rückkehr zum Normalmodus.

- 2 Sind Sie im Setup-Modus, blinkt die LED und zeigt Bereitschaft zur Programmeinstellung an. Drücken Sie den Set-Knopf einmal um den Einstellwert um eins zu erhöhen; nach der höchsten Zahl fällt er auf Nummer 1 zurück.
★Zählen Sie die Anzahl des Aufleuchtens der LED um den Wert zu überprüfen. Zum Beispiel: 1mal Aufleuchten bedeutet Einstellung 1, 3mal Aufleuchten bedeutet Einstellung 3.

- 3 Drücken Sie den Set-Knopf und halten Sie ihn 2 Sekunden lang gedrückt, um die Einstellungen zu speichern. Um die neuen Einstellungen zu aktivieren, den EFR nochmals aus/ein schalten.
★Wird der Set-Knopf im Setup-Modus 10 Sekunden lang nicht gedrückt, wird die Einstellung nicht gespeichert und zum Normalmodus zurückgekehrt.

«a» Einstellung Batterie-Abschaltung (LED/Rot)

Einstellung a	1	2	3
	On	Nicht verf.	Off

★Falls die Batteriespannung den Einstellwert unterschreitet, schaltet der Motor zum Schutz der Batterie ab.
Wir empfehlen die Verwendung von Gruppe 1 (für Ni-Cd/NiMH/LF Akkus).

«b» Rückfahr-Funktion (LED/Blau)

Einstellung b	1	2
Rückwärts	On	Off

★Falls die Rückfahr-Funktion abgeschaltet ist, wird beim Drücken des Gaszugriffs in die Rückwärts-Richtung die Bremse angesteuert.
★Falls die Rückfahr-Funktion aktiv ist, wird die Bremse angesteuert, sobald der Gaszugriff aus der Vorwärts-Richtung in die Rückwärts-Richtung gedrückt wird. Gehen Sie für Rückwärtsfahrt mit dem Zugriff aus der Brems-Position in die Neutralstellung zurück und drücken Sie dann erneut in die Rückwärts-Richtung.

«c» Bremseneinstellung (LED/Grün, Blau)

Einstellung c	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Wirkung(%)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

«d» Neutrale Bremseneinstellung (LED/Gelb, Blau)

Einstellung d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Wirkung(%)	Aus	5	10	15	20	25	30	35	40	45

«e» Einstellung Leerweg (LED/Blau, Rot)

Einstellung e	1	2	3	4	5
%	2	4	6	8	10

★Einstellen der neutralen Zone

«f» Voreingestellte Profile (LED/Grün, Gelb, Blau, Rot)

Einstellung f	1	2	3	4	5
Batterie-Abschaltung a	Wählen	Wählen	Wählen	Wählen	Ni-Cd/Ni-MH
Rückfahr-Funktion b	Aus	An	An	Aus	An
※Rückfahreinstellung(%)	0	50	50	0	25
Brems-Einstellung c	15	15	20	40	40
Brems-Neutralpunkt d	15	10	15	Aus	10
Leerweg e	4	4	6	6	4

※Verwenden Sie verschiedene voreingestellte Profile, um die Werte der Rückfahr-Einstellung zu verändern.
★Falls Sie ein voreingestelltes Profil 1,2,3 oder 4 wählen, wählen Sie für die Batterie-Abschalt-Einstellung entweder On oder Off.

«Fehlersuche/-behebung» ★Ehe Sie Ihren Fahrregler zur Reparatur einschicken, prüfen Sie ihn erneut an Hand untenstehenden Diagramms.

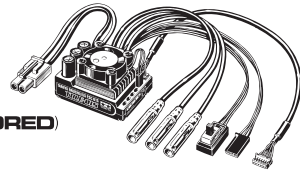
Symptom	Grund	Abhilfe
Motor läuft nicht. Keine Bremswirkung.	★Fehlerhafte Einstellung. ★Motor defekt. ★Verkabelungs-Problem. ★Fahrregler defekt. ★Überhitzungsschutz aktiviert.	●Setup-Prozedur erneut durchführen. ●Motor austauschen. ●Kabel und Stecker überprüfen. ●Wenden Sie sich an Ihren Tamiya-Händler. ●Den Fahrregler abkühlen lassen.
Steuerung gestört. Keine Steuerung möglich.	★Ungeeignete Anordnung von Fahrregler und/oder Empfänger. ★Ungeeignete Anordnung der Empfängerantenne.	●Neue Positionen für Einbau ausprobieren. ●Unterschiedliche Positionen für die Antenne ausprobieren.
Fahrregler überhitzt sich oder schaltet sich oft aus.	★Unzureichende Kühlung. ★Probleme im Antriebsstrang. ★Falsche Getriebeübersetzung.	●Sorgen Sie für bessere Belüftung, indem Sie Kühlschlitz in die Karosserie schneiden. ●Überprüfen Sie den Bereich drehender Teile im Chassis. Eventuell neu zusammenbauen. ●Geeignete Getriebeübersetzung verwenden.

Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Tamiya-Händler bezüglich aller Fragen, die diesen Fahrregler betreffen, einschließlich Teilen, Defekten und Reparaturen.
★Senden Sie das Produkt als Reparatur-Auftrag mit einer genauen Beschreibung des Fehlers an den Tamiya Kundendienst (Nur gültig innerhalb Japans).



TBLM-01S

TAMIYA BRUSHLESS ELECTRONIC SPEED CONTROLLER 01 (SENSORED)



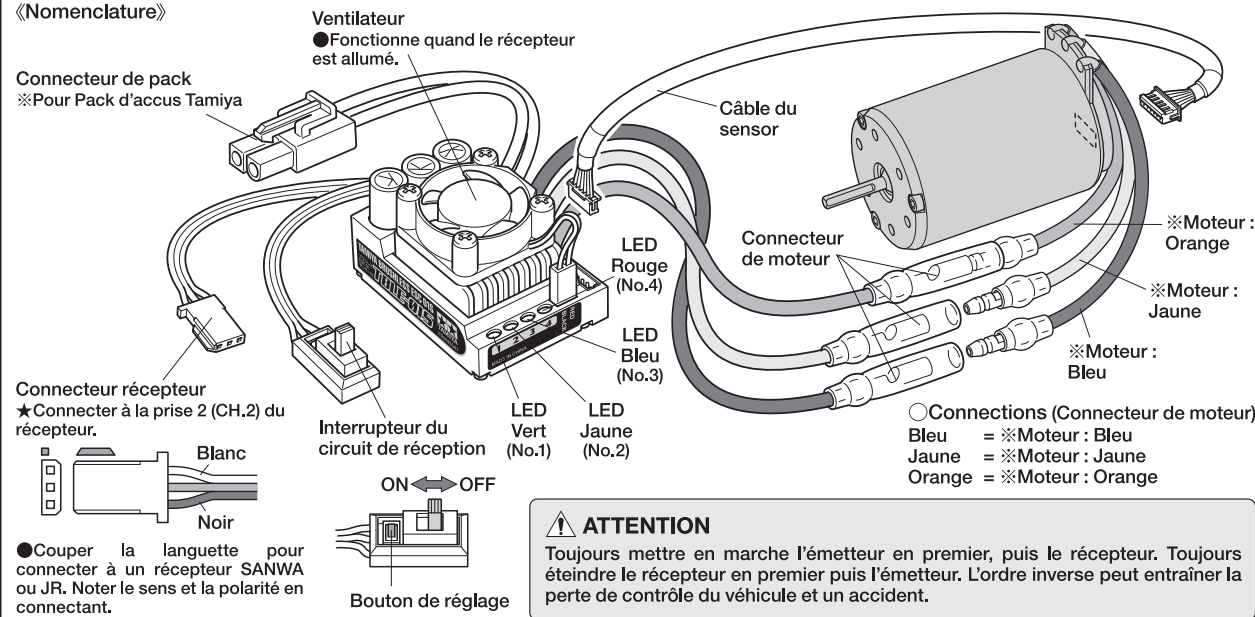
Merci d'avoir choisi le variateur Tamiya Brushless ESC 01 (Sensored). Ce variateur de vitesse électronique avant/arrière est spécialement conçu pour les moteurs Brushless Tamiya (Sensored). Bien lire et assimiler les instructions avant utilisation. Prenez absolument connaissance des recommandations : les dommages ou accidents causés par une utilisation incorrecte ne sont pas couverts par notre garantie.

★ Récepteur compatible: TAMIYA, SANWA, KO, FUTABA, JR
Les performances du variateur peuvent être instables en fonction de l'émetteur et du récepteur. Dans ce cas changer l'émetteur du mode haute-réponse au mode normal.

Caractéristiques

Fonctions : Avant / Frein / Arrière
Courant maxi continu : 100A
Tension d'alimentation : 6.6 - 7.2V
Dimensions : 35.5 x 47.0 x 31.0mm
Poids : 90g
BEC : 5.0V / 3.0A
Système de protection : Surchauffe / Surcharge / Alimentation faible
Moteurs compatibles : Tamiya Brushless 01 Series (TBLM-01S Series) (Sensored)
Technologie haute fréquence : 16kHz

«Nomenclature»



ATTENTION

Toujours mettre en marche l'émetteur en premier, puis le récepteur. Toujours éteindre le récepteur en premier puis l'émetteur. L'ordre inverse peut entraîner la perte de contrôle du véhicule et un accident.

«Installation»

- Fixer le variateur avec de la bande adhésive double face à un emplacement protégé dans l'éventualité d'un choc. Installer le variateur de façon à avoir libre accès aux commandes.
- Noter que le variateur, le moteur, le pack d'accus et les câbles émettent des parasites du fait des forts courants électriques qui les parcourent. Placer le récepteur et l'antenne à proximité peut générer des interférences et causer des pertes de contrôles. Le récepteur et l'antenne ne doivent pas être en contact avec le variateur. L'antenne ne doit pas croiser les câbles du variateur. Les câbles doivent être ligaturés. Un châssis en métal ou en fibre de carbone génère aussi des interférences.
- Installer le câble d'antenne verticalement à l'écart du variateur. Eviter le contact avec des pièces en fibre de carbone ou métal. Même si le câble d'antenne est trop long, ne pas l'enrouler. Se reporter aux instructions fournies avec l'ensemble RC.
- Installer le variateur à un emplacement ventilé. Cela augmentera les performances et la durée de vie des composants électroniques.

- Ce variateur Brushless Tamiya est protégé contre la surchauffe, la surcharge et une tension d'alimentation faible. En cas de surcharge, le moteur sera coupé. Dans ce cas, laissez refroidir le variateur. Si les coupures sont fréquentes, vérifiez les points suivants.
- ★ Rapport de transmission (se reporter au manuel du moteur pour les recommandations de pignons).
- ★ Puissance du moteur trop élevée ou moteur endommagé.

«Indicateur LED»

Le LED indique les paramètres et l'état du variateur

Fonction Arrière activée : LED/Vert (No.1) s'allume
Fonction Arrière désactivée : LED/Jaune (No.2) s'allume
Tension de coupure activée : LED/Rouge (No.4) clignote
Protection thermique activée : LED/Jaune (No.2) clignote
Câble du sensor déconnecté : toutes les LEDs clignotent
★ Le LED n'indique pas le neutre et les limites.

DANGER - AVERTISSEMENTS

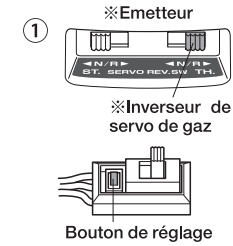
- Suivre scrupuleusement les instructions de sécurité suivantes car une utilisation incorrecte peut endommager le produit, causer des dommages matériels ou corporels et annuler notre garantie.
- Utiliser exclusivement avec le moteur Tamiya Brushless TBLM-01S (Sensored).
 - Ce variateur est destiné à des modèles radiocommandés roulants. Ne pas l'utiliser sur d'autres types de modèles.
 - Ne pas laisser le variateur en marche ou connecté au pack d'accus. Si un défaut survient, il y a un risque d'incendie.
 - Eviter les connexions incorrectes ou les inversions de polarité.
 - Bien veiller à la solidité des connexions. En cas de déconnexion causée par des vibrations, il y a un risque de perte de contrôle du modèle.
 - Ne pas démonter ou modifier le variateur. Ne remplacer pas les

- câbles, cela peut causer un court circuit et endommager le circuit imprimé.
- Toujours mettre en marche l'émetteur en premier puis le variateur. Dans le cas contraire, le récepteur peut capter des interférences et commander une accélération plein gaz avec risque d'endommager le modèle.
 - Ne pas laisser le variateur et les autres équipements électroniques entrer en contact avec de l'eau, du carburant ou autres liquides conducteurs électriques. Si cela se produit, stopper immédiatement l'utilisation et laisser sécher.
 - Ne pas mettre plein gaz si le moteur n'est pas fermement fixé car il peut être endommagé.
 - Une utilisation continue peut endommager le variateur. Laisser le variateur refroidir lors du remplacement du pack.

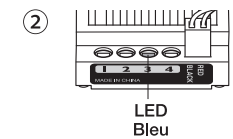
«Réglage du neutre»

S'assurer que le variateur n'est pas connecté au pack et éteint. Enlever le pignon du moteur et veiller à ce que les roues du modèle peuvent tourner librement.

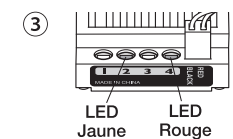
- 1 Connecter le pack au variateur. Toujours mettre en marche l'émetteur en premier puis le récepteur.
★ Mettre le trim de gaz (incluant le sub-trim) au neutre.
Pour les émetteurs SANWA et JR, positionner l'inverseur de gaz en normal. Pour les émetteurs TAMIYA, FUTABA et KO, positionner l'inverseur de gaz en reverse.
★ Ajuster les gazs ATV (marche avant/marche arrière) au maximum ou remettre les réglages d'origine. Si l'émetteur a des paramètres réglables comme l'ABS ou l'accélération, mettre hors fonctions ces réglages.
★ Si votre émetteur est équipé d'une fonction Fail Safe, la régler à la position neutre du variateur.



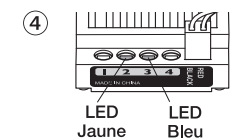
- 2 Mettre en marche le récepteur en appuyant sur le bouton de réglage de l'interrupteur. Le LED/Bleu (No.3) s'allume.
★ Ne pas bouger la gâchette de gaz jusqu'à ce que la LED s'allume.
★ Parfois, un certain temps peut être nécessaire avant que la LED ne s'allume, veuillez patienter.



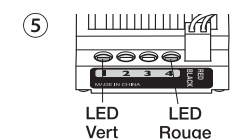
- 3 Mettre plein gaz et les LED/Jaune (No.2) et LED/Rouge (No.4) clignotent. Maintenir plein gaz jusqu'à ce que les LED/Jaune (No.2) et LED/Rouge (No.4) s'allument, puis appliquer plein frein.



- 4 Freiner à fond et les LED/Jaune (No.2) et LED/Bleu (No.3) clignotent. Maintenir le frein à fond jusqu'à ce que les LED/Jaune (No.2) et LED/Bleu (No.3) s'allument, puis revenir au neutre.



- 5 Ramener les gaz au neutre. Les LED/Vert (No.1) et LED/Rouge (No.4) clignotent. Cela peut prendre du temps. Le paramétrage est complet lorsque les LED s'éteignent.
Eteindre le variateur. Le paramétrage sera actif à la prochaine mise en marche.



- ★ Si le réglage a échoué, recommencer la procédure en partant de la première étape.
- ★ Les paramètres sont mémorisés après la fin du processus, en conséquence, chaque paramètre ne peut être mémorisé séparément.
- ★ Les paramètres ne seront pas mémorisés si le variateur est éteint durant le processus. Les paramètres précédents seront conservés.
- ★ Le paramétrage doit être refait si on change d'émetteur.
- ★ Si le contrôleur ne fonctionne pas après l'avoir rallumé, il se peut que la fonction réglage du neutre soit erronée. Dans ce cas, ajuster le trim de gaz sur l'émetteur ou recommencer la procédure de réglage depuis le début.
- ★ Ne pas ajuster le trim de gaz (incluant le sub-trim) après avoir terminé les réglages. Si les gazs ne répondent pas correctement, vérifier la position des trims.

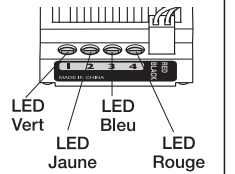
«Paramétrages d'Usine»

Les paramètres d'usine sont ceux du profil 5.

«Programmation de Mode»

Ce variateur possède des modes programmés qui permettent d'adapter les réglages aux besoins du pilote.

- 1 Maintenir appuyé le bouton de réglage. Le LED s'allume et indique le mode sélectionné. Le mode change toutes les 2 secondes («a» à «f»). Relâcher le bouton de réglage lorsqu'on arrive au mode souhaité. Si on maintient le bouton appuyé jusqu'au dernier mode, le LED bleu (jaune, si la fonction marche arrière est désactivée) s'allume et on revient au mode normal si on relâche le bouton.
- 2 En mode réglage, le LED clignote pour indiquer que l'on peut effectuer le paramétrage. Appuyer sur le bouton de réglage une fois pour augmenter la valeur de 1, retour à 1 après la plus haute valeur.
★ Compter le nombre de clignotements du LED pour vérifier la valeur. Par exemple, 1 flash signifie réglage 1 et 3 flashes signifie réglage 3.
- 3 Maintenir appuyé le bouton de réglage pendant 2 secondes pour mémoriser le réglage. Eteindre puis allumer à nouveau le variateur pour activer les nouveaux réglages.
★ Si le bouton de réglage n'est pas activé dans le mode de réglage pendant plus de 10 secondes, le paramètre n'est pas mémorisé et on retourne au mode normal.



«a» Tension de coupure (LED/Rouge)

Réglage a	1	2	3
	En fonctionnement	Indisponible	Hors fonction

★ Si la tension du pack descend sous la valeur paramétrée, le moteur s'arrête pour protéger le pack.
Nous recommandons le réglage 1 (pour accus Ni-Cd/Ni-MH/LF).

«b» Marche Arrière (LED/Bleu)

Réglage b	1	2
Marche Arrière	Désactivée	Activée

★ Si la fonction reverse est désactivée, le freinage aura lieu lorsque vous pousserez la gâchette dans la position reverse.
★ Si la fonction reverse est activée, le freinage aura lieu lorsque vous pousserez la gâchette de la position avance à la position reverse. Ramener la gâchette de la position frein au neutre, puis amener à nouveau en position marche arrière pour reculer.

«c» Frein (LED/Vert, Bleu)

Réglage c	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Puissance(%)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

«d» Frein Moteur (LED/Jaune, Bleu)

Réglage d	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Puissance(%)	Off	5	10	15	20	25	30	35	40	45

«e» Zone Neutre (LED/Bleu, Rouge)

Réglage e	1	2	3	4	5
%	2	4	6	8	10

★ Réglage de la zone neutre

«f» Profils de réglage (LED/Vert, Jaune, Bleu, Rouge)

Profil f	1	2	3	4	5
Tension de coupure a	Choisir	Choisir	Choisir	Choisir	Ni-Cd/Ni-MH
Marche Arrière b	Désactivée	Activée	Activée	Désactivée	Activée
* Valeur Marche Ar.(%)	0	50	50	0	25
Freinage c	15	15	20	40	40
Frein Moteur d	15	10	15	Désactivée	10
Zone de Neutre e	4	4	6	6	4

★ Utiliser les différents profils de réglages pour la changer.
★ Si on choisit les profils 1, 2, 3 ou 4, sélectionner soit en marche soit à l'arrêt dans les réglages des tensions de coupure.

«Détection de pannes» ★ Avant de renvoyer votre variateur en réparation, vérifier encore son état en se reportant au tableau ci-dessous.

Symptôme	Cause	Remède
Moteur ne fonctionne pas	★ Erreur de réglage ★ Moteur défectueux ★ Problème de câblage	● Recommencer la procédure de réglage. ● Remplacer le moteur. ● Vérifier câbles et connecteurs.
Pas de frein	★ Variateur défectueux ★ Protection thermique activée	● Contacter un revendeur Tamiya. ● Laisser refroidir le variateur.
Mauvais contrôle	★ Variateur et/ou récepteur mal placés ★ Antenne du récepteur mal placée	● Positionner différemment variateur et/ou récepteur. ● Positionner différemment l'antenne.
Variateur surchauffe et s'éteint continuellement	★ Refroidissement insuffisant ★ Problèmes de transmission ★ Rapport de transmission inadapté	● Accroître la ventilation en perçant des trous dans la carrosserie. ● Vérifier les pièces en mouvement. Réassembler si nécessaire. ● Utiliser un rapport correct.

Contactez votre revendeur local Tamiya pour toutes questions relatives aux pièces détachées et réparations.
★ Envoyer le produit avec une description détaillée du dysfonctionnement au service clientèle de Tamiya (seulement au Japon).



45047 TBLM-01S